

令和8年度 市道32号道路修繕工事

工事設計書

三浦市役所

都市環境部 土木課

# 位置図




令和 08 年度 設 計 積 算 書 表 紙 ( 当 初 )

設 計 書 番 号	年度 08	
事 業 所 名	三浦市	
( 工 事 ・ 業 務 ) 名	令和8年度 市道32号道路修繕工事	
( 工 事 ・ 業 務 ) 箇 所	三浦市宮川町地内	
( 河 川 ・ 路 線 ・ 区 域 ) 名	市道32号	
単 価 採 用 地 区 名	横須賀	
事 業 区 分		
工 期	契約日から 令和 08 年 09 月 30 日 まで	
設 計 金 額	( 円 )	
	円	
設 計 概 要	<p>工事延長 L=45.4m      施工幅員 W= 4.74m～ 5.17m</p> <p>道路打換え工 A = 220㎡</p> <p>表 層 工 A = 222㎡</p>	
( 起 工 ・ 変 更 ) 理 由		

令和 08 年度 設 計 積 算 書 表 紙 ( 当 初 )

<支出科目>

款	5
項	1
目	5
目の細目	
節	14

<合併区分情報>

合併処理設定	しない	
	区 分 1	
	区 分 2	
	区 分 3	
	区 分 4	
	区 分 5	
	区 分 6	
	区 分 7	
	区 分 8	
	区 分 9	

<全体金額情報>

	当初官積算額 (a)	当初請負額(b1) 前回変更請負額(b2)	今回変更官積算額 (c)	今回変更請負額 (d)=(b1)/(a)×(c)	増減 (d)-(b1) or (b2)	備 考
本工事費						
工事価格						
消費税等相当額						

令和 08 年度 積算諸条件調書 ( 当初 )

経費等情報	主たる工種	舗装工事		
	施工地域・工事場所区分	市街地DID補正(1)-1, 2		
	現場環境改善費計上区分	計上しない		
	緊急工事による補正	補正しない		
	前払金支出割合	35%を超える場合		
	契約保証の方法	補正なし		
	間接工事費率補正 (上記「施工地域・工事場所区分」、「契約保証」以外で補正がある場合)			
	共通仮設費率補正	0.00%		
	現場管理費率補正	0.00%		
	一般管理費率補正	0.00%		
	間接労務費・工場管理費計上区分	計上しない		
	土木工事標準積算基準書 適用年版	令和07年7月1日適用		
	土木工事資材等単価表 適用年版	令和8年5月1日基準		
	週休割増補正区分	月単位<現場閉所>		
	ICT施工補正区分	補正しない		
積算数量等情報	名称	採用数量	単位	備考
	交通誘導警備員B	8	人日	交代要員有り

(その他情報欄)



# 本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前 回 下段：今 回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
本工事費							
道路修繕			1	式			
舗装工			1	式			
道路打換え工			1	式			第 0001 号 内訳書
仮設工			1	式			第 0002 号 内訳書
直接工事費計			1	式			
共通仮設費計			1	式			
共通仮設費 (率分)			1	式			【千円止】
純工事費			1	式			
現場管理費			1	式			【千円止】
工事原価			1	式			
一般管理費等			1	式			
工事価格			1	式			【万円止】

# 本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前 回 下段：今 回)

費目 工種 種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
消費税及び地方消費税相当額					
	1	式			10.00%
本工事費計					
	1	式			

第0001号 内訳書  
道路打換え工

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0010) 準備工	1	式			第0001号下内
(AMA0020) 道路打換え工	1	式			第0002号下内
(AMA0030) 舗装工	1	式			第0003号下内
(AMA0060) 段切工	1	式			第0004号下内
(AMA0050) 区画線設置工	1	式			第0005号下内
合 計					

第0002号 内訳書  
仮設工

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0040) 交通管理工	1	式			第0006号下内
合 計					

第0001号 下位内訳書  
 AMA0010 準備工

1 式 当り  
 適用年版 T0805  
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB430510) 舗装版切断	19	m			第0001号単価表
(Z132543710) 舗装版切断濁水処分費 (東部地区) アスファルト舗装版	0.023	m3			
(Z132542700) 舗装版切断濁水運搬費 ダンプトラック2t積級	1	回			
合 計					
	1	式			円/式

第0002号 下位内訳書  
 AMA0020 道路打換え工

1 式 当り  
 適用年版 T0805  
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB430610) 直接掘削積込	220	m2			第0002号単価表
(WB430640) 路盤の敷均し転圧	220	m2			第0004号単価表
(CB227010) 殻運搬	11	m3			第0008号単価表
(Z132597000) 廃材処理料 (東部地区) AS殻	11	m3			
(CB210110) 土砂等運搬	44	m3			第0009号単価表
(Z132597040) 廃材処理料 (東部地区) 路盤材 (上層・下層)	44	m3			
合 計					

第0002号 下位内訳書  
AMA0020 道路打換え工

1 式 当り  
適用年版 T0805  
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	1	式			円/式

第0003号 下位内訳書  
AMA0030 舗装工

1 式 当り  
適用年版 T0805  
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB410010) 不陸整正	222	m2			第0010号単価表
(CB410260) 表層(車道・路肩部)	222	m2			第0011号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0004号 下位内訳書  
AMA0060 段切工

1 式 当り  
適用年版 T0805  
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB210720) 舗装版破碎積込(小規模土工)	2	m2			第0012号単価表
(CB227010) 殻運搬	0.1	m3			第0013号単価表
(Z132597000) 廃材処理料(東部地区) AS殻	0.1	m3			
合 計					
	1	式			円/式

第0005号 下位内訳書  
 AMA0050 区画線設置工

1 式 当り  
 適用年版 T0805  
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB821210) 区画線設置	22	m			第0014号単価表
(WB821210) 区画線設置	19	m			第0015号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0006号 下位内訳書  
 AMA0040 交通管理工

1 式 当り  
 適用年版 T0805  
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB010212) 交通誘導警備員B		人日			第0016号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0001号 単価表 機劣材構成比情報  
CB430510 舗装版切断

1 m 当り  
適用年版 T0805

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
コンクリートカッタ[ハキューム式(超低騒音型)] 湿式 切削深20cm級 プレート径φ56cm	M001161013		【損料】		M001161013
特殊作業員	R0101				R0101
土木一般世話役	R0125				R0125
普通作業員	R0102				R0102
コンクリートカッタ (プレート) 径18インチ	Z006540009				Z006540009
ガソリン レキユラー	Z006704001				Z006704001
標準単価		積算単価			
	1 m	当り		円/m	
条件名称	入力値		条件値		
J01 舗装版種別	1		アスファルト舗装版		
J02 アスファルト舗装版厚	1		15cm以下		
J05 費用の内訳	1		全ての費用		

第0002号 単価表  
WB430610 直接掘削積込

100 m2 当り  
適用年版 T0805

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役		人			[1]
(R0101) 特殊作業員		人			[1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(WK430110) バックホ運転		日			第0003号単価表 [1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) Σ[1] * 0.09	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 打換え区分	2		舗装版のみの打換え		
J02 掘削深さ	1		40cm以下		
J03 すりつけ作業の有無	1		有		

第0003号 単価表  
WK430110 ハックホリ運転

1 日 当り  
適用年版 T0805

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0114) 運転手(特殊)		人			[1]
(Z006702002) 軽油		L			[1]
(L001010003) ハックホリ(クロー) [標準] 山積0.45m3 (平積0.35m3)		日	【賃料】		[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]	1	式			
合 計					
	1	日			円/日
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
I01 打換え区分	2		舗装版のみの打換え		

第0004号 単価表  
WB430640 路盤の敷均し転圧

100 m2 当り  
適用年版 T0805

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役		人			[1]
(R0101) 特殊作業員		人			[1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(Y000241000) -00001 再生粒度調整砕石 RM-40	25.4	m <sup>3</sup>			[1]
(WK430540) 小型バックホウ運転		日			第0005号単価表 [1]
(WK430150) タイヤローラ運転		日			第0006号単価表 [1]
(WK430550) 振動ローラ運転		日			第0007号単価表 [1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) Σ[1] * 0.09	1	式			
合 計					
	1	m <sup>2</sup>			円/m <sup>2</sup>
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 総施工量	1		1000m <sup>2</sup> 未満		
J02 打換え区分	2		舗装版のみの打換え		
J03 層数(実数入力)	2		2 層		
J04 路盤厚さ(実数入力)	200		200 mm		
J05 路盤材の種類	9		路盤材(各種)		
J06 路盤材のロス率(実数入力)	0.27		0.27		
J07 すりつけ作業の有無	1		有		

第0005号 単価表  
WK430540 小型バックホウ運転

1 日 当り  
適用年版 T0805

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0114) 運転手(特殊)		人			[1]
(Z006702002) 軽油		L			[1]
(M000201046) 小型バックホウ(クローラ) [標準・超低騒音型] 排出ガス対策型(第3次基準)山積0.09~0.11m3		供用日	【損料】		[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]	1	式			
合 計					
	1	日			円/日
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
I01 打換え区分	2		舗装版のみの打換え		

第0006号 単価表  
WK430150 タイヤロー運転

1 日 当り  
適用年版 T0805

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0114) 運転手(特殊)		人			[1]
(Z006702002) 軽油		L			[1]
(L001060003) タイヤロー[普通型] 運転質量8~20t		日	【賃料】		[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]	1	式			
合 計					
	1	日			円/日
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 打換え区分	2		舗装版のみの打換え		

第0007号 単価表  
WK430550 振動ローラ運転

1 日 当り  
適用年版 T0805

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0114) 運転手(特殊)		人			[1]
(Z006702002) 軽油		L			[1]
(L001070011) 振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンパクト式] 運転質量3~4t		日	【賃料】		[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]	1	式			
合 計					
	1	日			円/日
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 打換え区分	2		舗装版のみの打換え		

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]			【損料】		M000301005
10t積級	MP03010050				
運転手(一般)					R0115
	R0115				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条件名称	入力値	条件値			
J01 殻発生作業	3	舗装版破碎			
J02 積込工法区分	3	機械(騒音対策不要、厚15cm以下)			
J03 DID区間の有無	2	有り			
J08 運搬距離(km) (DID区間有)	6	19.5km以下			
J13 費用の内訳	1	全ての費用			

第0009号 単価表 機労材構成比情報  
CB210110 土砂等運搬

1 m3 当り  
適用年版 T0805

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]			【損料】		M000301005
10t積級	MP03010050				
運転手(一般)					R0115
	R0115				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条件名称	入力値	条件値			
J01 土砂等発生現場	1	標準			
J02 積込機種・規格	3	バックホ山積0.45m3(平積0.35m3)			
J03 土質	1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)			
J04 DID区間の有無	2	有り			
J10 運搬距離(km)(DID区間有)	10	12.0km以下			

第0010号 単価表 機労材構成比情報  
CB410010 不陸整正

1 m2 当り  
適年版 T0805

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
モータレータ[土工用]			【損料】		M000701021
排出ガス対策(2014年規制)プレート幅3.1m	M000701021				
ロードローラ[マカダム]			【賃料】		L001050002
運転質量10～12t	L001050002				
タイヤローラ[普通型]			【賃料】		L001060004
運転質量13～14t	L001060004				
運転手(特殊)					R0114
	R0114				
普通作業員					R0102
	R0102				
特殊作業員					R0101
	R0101				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m2	当り		円/m2	
条件名称	入力値	条件値			
J01 補足材料の有無	1	無し			
J04 費用の内訳	1	全ての費用			

第0011号 単価表 機労材構成比情報  
CB410260 表層(車道・路肩部)

1 m2 当り  
適用年版 T0805

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
アスファルトフィニッシュ [ホイール型]舗装幅1.4~3.0m	L001210001		【賃料】		L001210001
振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	L001070011		【賃料】		L001070011
タイヤローラ[普通型] 運転質量3~4t	L001060001		【賃料】		L001060001
普通作業員	R0102				R0102
運転手(特殊)	R0114				R0114
特殊作業員	R0101				R0101
土木一般世話役	R0125				R0125
再生アスファルト混合物 再生密粒度アスコン(13)	ZP41000030				Z004101004
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	Z004130002				Z004130002
軽油	Z006702002				Z006702002
標準単価		積算単価			
	1 m2	当り		円/m2	
条件名称	入力値	条件	値		
J01 平均幅員	3		1.4m以上3.0m以下		
J02 1層当平均仕上厚			50mm以下		
J03 1層当平均仕上厚			50mm超70mm以下		
J04 1層当平均仕上厚	50		70mm以下		

第0011号 単価表 機労材構成比情報  
CB410260 表層(車道・路肩部)

1 m2 当り  
適用年版 T0805

J05 材料	11	再生密粒度アスコン(13)
J06 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第0012号 単価表 機労材構成比情報  
CB210720 舗装版破碎積込(小規模土工)

1 m2 当り  
適用年版 T0805

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
小型バックホ(クロー) [標準]			【損料】		M000201034
排出ガス対策型(第2次基準) 山積0.13m3	M000201034				
運転手(特殊)					R0114
	R0114				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m2	当り		円/m2	
条件名称	入力値		条件値		
J01 費用の内訳	1		全ての費用		

第0013号 単価表 機労材構成比情報  
CB227010 殻運搬

1 m3 当り  
適用年版 T0805

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]			【損料】		M000301001
2t積級	MP03010010				
運転手(一般)					R0115
	R0115				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条件名称	入力値		条件値		
J01 殻発生作業	3		舗装版破碎		
J02 積込工法区分	4		機械積込(小規模土工)		
J03 DID区間の有無	2		有り		
J10 運搬距離(km) (DID区間有)	12		15.0km以下		
J13 費用の内訳	1		全ての費用		

第0014号 単価表  
WB821210 区画線設置

1,000 m 当り  
適用年版 T0805

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001036025) 区画線設置(熔融式) 昼間 豪雪無 破線15cm 制約無	1,000	m			[2]
(Z004350001) トラフィックペイント 熔融型 3種1号 ビーズ 15~18 白	570	kg			[1]
(Z004352001) ガラスビーズ 0.106~0.850mm	25	kg			[1]
(Z004354001) 接着用プライマー 区画線用	25	kg			[1]
(Z006702002) 軽油		L			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.05$	1	式			
合 計					
	1	m			円/m
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 夜間作業の有無	1		無し		
J02 施工方法区分	1		熔融式手動		
J03 豪雪補正の有無	1		無し		
J04 規格・仕様区分	5		破線 15cm		
J05 時間的制約の有無	1		無し		
J06 塗布厚	1		1.5mm		
J07 排水性舗装に施工する場合の補正	1		無し		
J08 未供用区間の場合の補正	1		無し		
J09 熔融式塗料規格	1		含有量15~18%		
J11 塗料区分	1		白		
J12 プライマー規格	1		アスファルト舗装		
J13 費用の内訳	1		全ての費用		

第0015号 単価表  
WB821210 区画線設置

1,000 m 当り  
適用年版 T0805

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001036073) 区画線設置(熔融式) 昼間 豪雪無 矢印・記号・文字 制約無	1,200	m			[2]
(Z004350009) トフィックペイント 熔融型 3種1号 ビーズ 15~18 黄 鉛・フリー	684	kg			[1]
(Z004352001) ガラスビーズ 0.106~0.850mm	30	kg			[1]
(Z004354001) 接着用プライマー 区画線用	30	kg			[1]
(Z006702002) 軽油		L			[1]
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.05$	1	式			
合 計					
	1	m			円/m
条 件 名 称	入 力 値	条 件 値			
J01 夜間作業の有無	1	無し			
J02 施工方法区分	1	熔融式手動			
J03 豪雪補正の有無	1	無し			
J04 規格・仕様区分	13	矢印・記号・文字 15cm換算			
J05 時間的制約の有無	1	無し			
J06 塗布厚	1	1.5mm			
J07 排水性舗装に施工する場合の補正	1	無し			
J08 未供用区間の場合の補正	1	無し			
J09 熔融式塗料規格	1	含有量15~18%			
J11 塗料区分	2	黄 鉛・クromフリー			
J12 プライマー規格	1	アスファルト舗装			
J13 費用の内訳	1	全ての費用			

第0016号 単価表  
WB010212 交通誘導警備員B

1 人日 当り  
適用年版 T0805

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0804) 交通誘導警備員B		人			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]	1	式			
合 計					
	1	人日			円/人日



















## 施 工 パ ッ ケ ー ジ 材 料 集 計 表

単価コード	単価名称	標準単価	材料率(%)	数量	材料分金額	条件情報
CB430510	舗装版切断			19		J01=アスファルト舗装版 / J02=15cm以下 / J05=全ての費用
CB227010	殻運搬			11		J01=舗装版破碎 / J02=機械(騒音対策不要、厚15cm以下) / J03=有り / J08=19.5km以下 / J13=全ての費用
CB210110	土砂等運搬			44		J01=標準 / J02=バックホウ山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> ) / J03=土砂(岩塊・玉石混り土含む) / J04=有り / J10=12.0km以下
CB410010	不陸整正			222		J01=無し / J04=全ての費用
CB410260	表層(車道・路肩部)			222		J01=1.4m以上3.0m以下 / J02=mm / J03=mm / J04=50 mm / J05=再生密粒度アスコン(13) / J06=プライコート PK-3 / J07=全ての費用
CB210720	舗装版破碎積込(小規模土工)			2		J01=全ての費用
CB227010	殻運搬			0.1		J01=舗装版破碎 / J02=機械積込(小規模土工) / J03=有り / J10=15.0km以下 / J13=全ての費用
合計						

数量総括表

工種	規格・寸法	単位	数量	備考
準備工				
舗装版切断	As舗装 t=15cm以下	m	19	
舗装版切断濁水処分費	As舗装版	m <sup>3</sup>	0.023	
舗装版切断濁水運搬費	2t車	回	1	
道路打換え工				
直接掘削積込		m <sup>2</sup>	220	
路盤の敷均し転圧	RM-40、t=200	m <sup>2</sup>	220	
殻運搬	舗装版、機械 DID有、L=19.5km以下	m <sup>3</sup>	11	
廃材処理料(東部地区)	As殻	m <sup>3</sup>	11	
土砂等運搬(現場～処分場)	バックホウ0.45m <sup>3</sup> DID有、L=19.5km以下	m <sup>3</sup>	44	
廃材処理料	路盤材	m <sup>3</sup>	44	
舗装工				
不陸整正		m <sup>2</sup>	222	
表層(車道・路肩)	再生密粒(13)、50mm	m <sup>2</sup>	222	
段切工				
舗装版破碎積込	小規模	m <sup>2</sup>	2	
殻運搬	小規模、15.0km以下	m <sup>3</sup>	0.1	
廃材処理料	As	m <sup>3</sup>	0.1	
区画線設置工				
区画線設置	破線15cm	m	22	
区画線設置	文字・黄色・15cm換算	m	19	
交通管理工				
交通誘導警備員B		人日	8	

種 別	計 算	数 量
準備工		
舗装版切断 As舗装 t=15cm以下	起点部2箇所、終点部2箇所 $5.17 \text{ m} \times 2 \text{ 箇所} = 10.3 \text{ m}$ $4.74 \text{ m} \times 2 \text{ 箇所} = 9.48 \text{ m}$ 合計 = 19.8 m	19.8 m
舗装版切断濁水処分費 As舗装版	$0.023 \times 0.05 \text{ m} \times 19.8 \text{ m}$	$0.023 \text{ m}^3$
舗装版切断濁水運搬費 2t車	$0.023 \text{ m}^3 \times 1.1 \text{ t/m}^3 = 0.03 \text{ t} < 2\text{t}$	1.0 回
道路打換え工		
直接掘削積込	「路盤 面積計算書」より 220.3 m <sup>2</sup>	220.3 m <sup>2</sup>
路盤の敷均し転圧 RM-40、t=200	「路盤 面積計算書」より 220.3 m <sup>2</sup>	220.3 m <sup>2</sup>
殻運搬 舗装版、機械 DID有、L=19.5km以下	t=0.05m $220.3 \text{ m}^2 \times 0.05 \text{ m}$	11 m <sup>3</sup>
廃材処理料(東部地区) As殻	同上	11 m <sup>3</sup>
土砂等運搬(現場～処分場) バックホウ0.45m <sup>3</sup> DID有、L=19.5km以下	t=0.20m $220.3 \text{ m}^2 \times 0.20 \text{ m}$	44.1 m <sup>3</sup>
廃材処理料 路盤材	同上	44.1 m <sup>3</sup>
舗装工		
不陸整正	「表層 面積計算書」より 222.2 m <sup>2</sup>	222.2 m <sup>2</sup>
表層(車道・路肩) 再生密粒(13)、50mm	「表層 面積計算書」より 222.2 m <sup>2</sup>	222.2 m <sup>2</sup>

種 別	計 算	数 量
段切工		
舗装版破碎積込 小規模	$W=0.2\text{m、起点側+終点側}$ $5.17\text{ m} \times 0.20\text{ m} = 1.03\text{ m}^2$ $4.74\text{ m} \times 0.20\text{ m} = 0.95\text{ m}^2$ $\text{合計} = 1.98\text{ m}^2$ $\approx 2.00$	= 2.0 m <sup>2</sup>
	<p>段切部断面</p> <p>道路打換工施工範囲</p> <p>As取壊し運搬処分(起点側&amp;終点側)</p>	
殻運搬 小規模、15.0km以下	$2.0\text{ m}^2 \times 0.05\text{ m}$	= 0.1 m <sup>3</sup>
廃材処理料 As	同上	= 0.1 m <sup>3</sup>
区画線設置工		
区画線設置 破線15cm	$\text{センターライン 工事延長} \div 2$ $45.4\text{ m} \div 2$	= 22.7 m
区画線設置 文字・黄色・15cm換算	$\text{速度30 1箇所}$ $19.3\text{ m} \times 1$ $15\text{cm換算延長}$	= 19.3 m
交通管理工		
交通誘導警備員B	「交通誘導警備員算定表」より	= 8 人日

### 路盤 面積計算書

	区間長	幅員	平均幅員	面積 m2
No.0		5.17		
N0.1	20.00	4.89	5.03	100.6
No.2	20.00	4.74	4.82	96.4
	5.00	4.74	4.74	23.7
MH控除	φ 0.75			(0.40)
合計				220.3

### 表層 面積計算書

	区間長	幅員	平均幅員	面積 m2
-0.20		5.17		
No.0	0.20	5.17	5.17	1.0
N0.1	20.00	4.89	5.03	100.6
No.2	20.00	4.74	4.82	96.4
	5.00	4.74	4.74	23.7
+0.20	0.20	4.74	4.74	0.9
MH控除	φ 0.75			(0.40)
	45.40			
合計				222.2

## 交通誘導警備員算定表

工種・種別・名称	規格・寸法	単位	数量	施工量 日当り	施工日数		配置 人員	人員
						整数止		
<b>準備工</b>								
舗装版切断 道路打換え工	As舗装 t=15cm以下	m	19					
直接掘削積込		m2	220					
路盤の敷均し転圧	RM-40、t=200	m2	220					
<b>舗装工</b>								
不陸整正		m2	222					
表層（車道・路肩）	再生密粒（13）、50mm	m2	222					
<b>段切工</b>								
舗装版破碎積込	小規模	m2	2					
小計①							3	
<b>区画線設置工</b>								
区画線設置	破線15cm	m	22					
区画線設置	文字・黄色・15cm換算	m	19					
小計②							2	
<b>交通誘導警備員</b>	合計人員（交代要員含む）							

## 【本工事における特記仕様書の一覧表】

	特記仕様書の名称	備考
1	特記仕様書	
2	建設廃棄物の取扱い及び建設副産物の適正処理・再資源化に係る特記仕様書	
3	建設副産物実態調査に係る特記仕様書	
4	公共建設発生土処理に係る「指定処分A(指定受入地)」特記仕様書	
5	舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書	

## 特 記 仕 様 書

本仕様書は、令和8年度 市道32号道路修繕工事（以下、「本工事」という。）に適用するものとする。

1. 受注者は、速やかに施工計画書を作成し、監督職員に提出すること。
2. 本工事において、この特記仕様書によらないものについては「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」を遵守すること。  
なお、土木工事共通仕様書は令和8年4月、土木工事施工管理基準は令和8年4月に改正となったため注意すること。
3. 受注者が実施する測量、設計等に要する費用は準備費、技術管理費及び現場管理費に含まれているので別途計上はしない。
4. 受注者は、周辺住民に与える建設公害等を極力軽減するよう配慮した上で資機材、建設廃材等の運搬経路、資材の仮置場、工事区域を区分する保安施設等の設置箇所、工事期間、施工方法等について十分検討し、周辺住民に対し周知を図るものとする。
5. 受注者は、本工事施工にあたり民有地等を利用して工事を行う場合は各所有者及び管理者の承諾を得なければならない。  
また、上記の用地を利用した場合、原則として工事完了後に受注者の責任を持って現況に復旧すること。
6. 建設廃材処理については、建設副産物適正処理要項を遵守するとともに、提出を要する書類については所定の様式に必要事項を漏れなく記載し提出すること。  
(別添の廃棄物適正処理等の特記仕様書を参照)
7. 受注者は三浦市が定める要領（「三浦市週休2日制確保工事試行要領（土木工事）」）に基づき、週休二日の取組みを実施するものとする。

## 建設廃棄物の取扱い及び建設副産物の適正処理・再資源化に係る特記仕様書

本特記仕様書は、建設工事から発生する廃棄物についての取扱い及び建設副産物の適正処理・再資源化に関する事項を定めるものである。

### I. 総則

#### 1 用語の定義

本特記仕様書において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 建設工事 土木建築に関する工事をいう。
- (2) 建設副産物 建設工事に伴い副次的に得られた物品をいう。
- (3) 建設廃棄物 建設副産物のうち廃棄物処理法上の廃棄物に該当するものをいう。
- (4) 建設資材 土木建築に関する工事に使用する資材をいう。
- (5) 建設資材廃棄物 建設資材が廃棄物処理法上の廃棄物となったものをいう。
- (6) 建築物等 建築物その他の工作物をいう。
- (7) 再資源化  
分別解体等に伴って生じた建設資材廃棄物の運搬又は処分(再生することを含む)に該当するもので次に掲げる行為をいう。  
ア 資材又は原材料として利用することができる状態にすること。  
イ 燃焼の用に供することができるもの又はその可能性のあるものについて、熱を得ることに利用することができる状態にすること。
- (8) 建設リサイクル資材  
「県土整備局公共工事グリーン調達基準」の別表第7に定める認定対象品目の資材をいう。

### II. 建設副産物適正処理・再資源化に関する事項

工事の施工等に当たっては、まず建設副産物の発生抑制に努め、発生したものについては再使用、再生利用を徹底し、そして熱回収が可能なものは熱回収を行うことを基本として取り組むこととし、このための施工方法及び建設資材の選択等については積極的に提案すること。

#### 1 施工前に取り組む事項

建設副産物の発生抑制、再資源化等の中心的役割を担うものとして、建設業法、建設リサイクル法その他の法令を遵守するとともに、発注者との連絡調整、管理及び施工体制の整備等を行うこと。

《管理及び施工体制の整備》

- (1) 工事現場における建設副産物対策の責任者を明確にし、廃棄物処理計画の作成に努めること。
- (2) 廃棄物処理計画等の内容については、現場担当者の教育、協力業者に対する周知徹底と明確な指導を行うこと。

《下請契約》

- (3) 工事の一部を下請発注し、生じた建設廃棄物を処理委託する場合は個別に直接処理委託の契約をすること。
- (4) 建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担に努めること。

《再生品の利用》

- (5) 建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材については、利用用途に応じた品質等を考慮した上で、次の事例を参考とし、可能な限り利用すること。  
ア 道路等の舗装の路盤材は、原則として、「コンクリート塊等の処理及び建設リサイクル資材に関する事務取扱要領」に基づく神奈川県県土整備局の指定するコンクリート塊等処理指定工場から再生砕石等を調達すること。  
イ 道路舗装材には、「工事における環境配慮型公共工事の推進に関する特記仕様書」を参考に、再生加熱アスファルト混合物等の利用に努めること。  
ウ この他、コンクリート型枠材としてのパーティクルボード(ストランドボード)等エンジニアードウッドの利

用、法面の緑化材、雑草防止材等としての再生木質マルチング材等の利用を積極的に提案すること。

## 2 施工に関する事項

建設資材廃棄物の処理等の過程においては、廃棄物処理法、大気汚染防止法、労働安全衛生法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例等関係法令の遵守を徹底するとともに、アスベスト、CCA処理木材、フロン類、非飛散性アスベスト、PCB等の取扱いには十分注意し、有害物質等の発生抑制及び周辺環境への影響の防止を図ること。

### 《発生抑制》

- (1) 端材の発生が抑制される施工方法の採用及び建設資材の選択等について、次の事例を参考にして、積極的な提案を行うこと。
  - ア 使用済コンクリート型枠の再使用
  - イ コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊の現場内破砕による路盤材等への再生利用
  - ウ 建設汚泥の現場内での脱水、固化等による盛土材等への再生利用

### 《再資源化等》

- (2) コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材等、建設発生土は、再資源化施設等へ搬入するとともに、再生資源の活用に努めること。
- (3) コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊は、原則として神奈川県県土整備局が指定するコンクリート塊等処理指定工場へ搬入すること。
- (4) 建設発生木材等は、原則として神奈川県県土整備局が指定する事業者の指定施設へ搬入すること。
- (5) その他の建設廃棄物(特定建設資材廃棄物以外の廃棄物、対象建設工事でない工事による建設廃棄物)についても、可能な限り再資源化等に努めること。

### 《適正処理》

- (6) 廃棄物を処理する場合には、元請業者は、排出事業者として自らの責任において、廃棄物処理法等関係法令に基づき、可能な限り現場で減量化した後に適正に処理すること。
- (7) 廃棄物の処理を委託する場合には次の事項に留意すること。
  - ア 運搬と処分についてそれぞれの許可業者と各々委託契約すること。
  - イ 適正な委託契約を行わない状況で、受託者が不法投棄等を行った時には、委託基準違反として委託者にも責任が及ぶことになるため、適正な委託費用をもって適切な委託契約を行い、併せて契約内容を確実に履行するよう関係者を指導監督すること。
  - ウ 産業廃棄物の処理を委託する場合には、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付し、最終処分(再生を含む。)が完了したことを確認すること。

## 3 施工の完了後に行う事項

(1) コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊については、「コンクリート塊等の処理及び建設リサイクル資材に関する事務取扱要領」に基づき、当該工事で発生したコンクリート塊等の指定工場への搬入を完了した時は、速やかにコンクリート塊等搬入完了報告書に指定工場の証明を受けて監督職員に報告すること。

## 建設副産物実態調査に係る特記仕様書

本特記仕様書は、建設副産物実態調査に関する事項を定めるものである。

### I. 用語の定義

本特記仕様書において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 建設工事 土木建築に関する工事をいう。
- (2) 建設副産物 建設工事に伴い副次的に得られた物品をいう。
- (3) 建設廃棄物 建設副産物のうち廃棄物処理法上の廃棄物に該当するものをいう。
- (4) 建設資材 土木建築に関する工事に使用する資材をいう。
- (5) 建設資材廃棄物 建設資材が廃棄物処理法上の廃棄物となったものをいう。
- (6) 建築物等 建築物その他の工作物をいう。
- (7) 再資源化  
分別解体等に伴って生じた建設資材廃棄物の運搬又は処分(再生することを含む)に該当するもので次に掲げる行為をいう。
  - ア 資材又は原材料として利用することができる状態にすること。
  - イ 燃焼の用に供することができるもの又はその可能性のあるものについて、熱を得ることに利用することができる状態にすること。
- (8) 建設リサイクル資材  
「県土整備局公共工事グリーン調達基準」の別表第7に定める認定対象品目の資材をいう。

### II. 建設副産物実態調査に関する事項

現場から発生する建設副産物についての発生量および再生資源利用量の実態把握について定める。

1. 元請業者は、当該年度に終了した最終請負額が100万円以上の工事(小規模工事等又は調査対象となる。建設資材の利用及び建設副産物の発生・搬出が無い工事は除く)は、次項の建設副産物実態調査作業手順にもとづき調査データを提出するものとする。ただし、複数年度にまたがる債務工事等の工事額は、当該年度の年割額を記入し、工事内容は当該年度分の資材利用量、建設副産物発生量・搬出量のみを記入する。なお、この手順により作成されたデータおよび帳票は、「資源の有効な利用の促進に関する法律」で定められた「再生資源利用{促進}計画書(実施書)の作成」を兼ねるものとする。  
本調査の対象品目は、表1の通りである。

表1 調査対象品目

対象	調査対象品目	備考
搬入する建設資材	コンクリート	生コンクリート、コンクリート二次製品(有筋、無筋)など
	木材	
	アスファルト・コンクリート	
	土砂	山砂、建設発生土、土質改良土、建設汚泥処理土、再生コンクリート砂(RC-10)など
	砕石	鉱さい、クラッシャーラン、ぐり石など
	塩化ビニル管・継手	
	石膏ボード	
	その他の建設資材	
搬出する建設副産物	コンクリート塊	
	建設発生木材A(柱、ボードなどの木製資材が廃棄物となったもの)	建設発生木材等のうち、解体木くず、新築端材木くず等が該当する。
	アスファルト・コンクリート塊	
	その他がれき類	
	建設発生木材B(立木、除根材などが廃棄物となったもの)	建設発生木材等のうち、建設工事(工作物の新築、改築又は除去に係るものに限る。)に伴って副次的に得られる伐木材、伐根材が該当する。
	建設汚泥	
	混合状態の廃棄物(建設混合廃棄物)	現場へ搬出する状態で判断し、発生と搬出の間に分別された場合には、分別後の品目が発生したものとみなす。
	金属くず	
	廃塩化ビニル管・継手	
	廃プラスチック(廃塩化ビニル管・継手を除く)	
	廃石膏ボード	
	紙くず	
	アスベスト(飛散性)	
	その他の分別された廃棄物	
第一種～第四種建設発生土及び浚渫土(建設汚泥を除く)		

2. 建設副産物実態調査の作業手順は、次のとおりとし、元請業者が行うものとする。
- (1) 一般財団法人日本建設情報統合センターのホームページ【<http://www.recycle.jacic.or.jp/>】から建設副産物情報交換システムにログインする。  
システムの操作方法については、「各種マニュアル」ページ内の「建設副産物情報交換システム」の操作マニュアル「排出事業者用」を参照する。
  - (2) 当初契約時点でのデータを入力する。（「再生資源利用(促進)計画書—建設リサイクルガイドライン様式—」の作成）
  - (3) 工事完成時に実施書(最終データに修正)に書き換える。
  - (4) 各種書類の印刷により、「チェックリスト」を出力し、必須エラーが発生していないことを確認する。
  - (5) 工事検索画面から当該工事を検索し、「登録証明書の印刷」により「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を印刷し、監督職員に提出する。

3. データ入力上の留意点

- (1) 建設発生土の入力値について  
建設発生土については、埋戻しなどのように、現場内利用がある場合には、建設副産物発生・搬出(一種発生土～浚渫土)には、「地山m<sup>3</sup>」で入力し、建設資材利用(土砂)には、「締めm<sup>3</sup>」(表2、土量の変化率Cを考慮)で入力する。

表2 土量の変化率C

レキ質土		砂質土及び砂		粘性土		岩塊 玉石
レキ	レキ質土	砂	砂質土 (普通土)	粘性土	高含水比 粘性土	
0.95	0.90	0.95	0.90	0.90	0.90	1.00

軟岩 I	軟岩 II	中硬岩	硬岩 I
1.15	1.20	1.25	1.40

(例)

掘削 100m<sup>3</sup> (地山m<sup>3</sup>)

埋戻し 20m<sup>3</sup> (締めm<sup>3</sup>) 「土砂 建設資材 利用量(A)」欄に入力する。

22m<sup>3</sup> (地山m<sup>3</sup>) 「一種発生土～浚渫土 ②利用量」欄に入力する。

20m<sup>3</sup> / 変化率C(仮に0.9とする) = 22m<sup>3</sup>

処分 78m<sup>3</sup> (地山m<sup>3</sup>) 「一種発生土～浚渫土 ④現場外搬出量」欄に入力する。

100m<sup>3</sup> - 22m<sup>3</sup> = 78m<sup>3</sup>

(2) 建設資材利用について

ア 建設リサイクル資材を利用する場合は、建設資材利用の欄に以下の方法により入力する。

- ・表3にまとめる調査対象品目の分類ごとに建設リサイクル資材をそれぞれ入力する。建設リサイクル資材の品目名については、神奈川県県土整備局建設リサイクル資材認定資材一覧表(以下、認定一覧表という)を参照する。

表3 調査対象品目と建設リサイクル資材品目名

調査対象品目 (建設資材の「分類」)	建設リサイクル資材の品目名
土砂(建設汚泥処理土)	再生改良土
	再生流動性埋戻材
アスファルト・コンクリート	再生加熱アスファルト混合物
砕石	再生骨材等
コンクリート	再生コンクリート二次製品(無筋)※
	再生舗装用ブロック(平板、インターロッキングブロック、レンガブロック等)
	再生骨材コンクリート
コンクリート及び鉄から成る建設資材	再生コンクリート二次製品(有筋)※
木材	再生木質ボード
	再生集成材・合板
塩化ビニル管・継手	排水・通気用再生硬質塩化ビニル管

※ 再生コンクリート二次製品に該当する建設リサイクル資材が無筋コンクリートの場合、調査対象品目のうち「コンクリート」に、再生コンクリート二次製品に該当する建設リサイクル資材が有筋コンクリートの場合、調査対象品目のうち「コンクリート及び鉄から成る建設資材」に入力する。

- ・「規格」は認定一覧表の「寸法・規格等」を入力する。
- ・「再生資材の供給元施設、工事等の名称」については認定一覧表の「製造工場」を入力し、「再生資材の供給元場所住所」については、認定一覧表の製造工場の住所を入力する。
- ・「再生資材利用量」は、利用量と同じ値を入力する。

イ 新材を利用する場合は、調査対象品目の中で箇所を変えて入力する。また、その際の「再生資材利用量」には0を入力する。

ウ RC-10(再生砂)を利用する場合は、「土砂」の「再生コンクリート砂」欄に入力する。

(3) 建設副産物発生・搬出(コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材A・B、建設汚泥、建設発生土(第一種～第四種建設発生土及び浚渫土))について

ア コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊を県土整備局のコンクリート塊等処理指定工場に搬出する場合は、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)」と選択する。

イ 建設発生木材等のうち解体木くず、新築端材木くずを県土整備局の建設発生木材等再資源化指定事業者の指定施設に搬出する場合は、「建設発生木材A(柱、ボードなどの木製資材が廃棄物になったもの)」欄に入力することとし、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)」と選択する。

ウ 建設発生木材等のうち伐木材、除根材を県土整備局の建設発生木材等再資源化指定事業者の指定施設に搬出する場合は、「建設発生木材B(立木、除根材などが廃棄物となったもの)」欄に入力することとし、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)」と選択する。

エ 建設汚泥を一部であっても改良土等に処理している施設などに搬出する場合は、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)」と選択する。

オ再利用が決まっている建設発生土を仮置き場に搬出する際は、「搬出先の種類のコード」を「5 工事予定地・仮置場・ストックヤード(再利用の目的がある決定)」と選択する。

## 舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

(趣 旨)

第 1 条 この特記仕様書は、神奈川県土木工事共通仕様書等に定めるもののほか、舗装版切断時に発生する濁水の処理に関し必要な事項を定めるものとする。

(適 用)

第 2 条 三浦市が発注する工事で、舗装版の切断作業に適用する。

(処理方法)

第 3 条 舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。

(条 件)

第 4 条 受注者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

2 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

(提出書類等)

第 5 条 受注者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、受注者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。また、受注者が濁水の収集運搬を委託した場合は、受注者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。

2 受注者は、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない。

(その他)

第 6 条 この特記仕様書に疑義が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。

# 施工条件明示書

工事名：令和8年度 市道32号道路修繕工事

明示項目	対象の有無	明示事項	内 容	関連特記仕様書等	
工程関係	<input type="checkbox"/>	1. 他工事の開始又は完了の時期による影響	影響が生じる他の工事 影響箇所 影響する内容 他工事の開始時期 他工事の完了時期		
	<input type="checkbox"/>	2. 施工時期、施工時間及び施工方法の制限	制限を受ける施工内容 制限を受ける施工時期 制限を受ける施工時間 開始 時 分 から 時 分 まで 制限を受ける施工方法		
	<input checked="" type="checkbox"/>	3. 関係機関等との協議の未成立	未成立協議内容 道路使用許可申請書（警察） 道路工事届出書（消防） 協議成立見込み時期		
	<input type="checkbox"/>	4. 関係機関等との協議した結果、工程に影響を及ぼす項目と範囲	影響項目 影響範囲		
	<input type="checkbox"/>	5. 余裕工期を設定した場合の工事の着手時期	全体工期 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 着手時期 令和 年 月 日 留意事項		
	<input type="checkbox"/>	6. 地下埋設物・埋蔵文化財等の事前調査及び移設期間	地下埋設物・埋蔵文化財の種類	事前調査・移設の期間	
				令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
			令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
<input type="checkbox"/>	7. 設計上見込んでいない休日日数等以外の作業不能日数	休日日数等以外の作業不能日数	内 容		
用地関係	<input type="checkbox"/>	1. 工事用地等の未処理部分	場 所	範 囲	処理の見込み時期
				令和 年 月 日頃	
				令和 年 月 日頃	
	<input type="checkbox"/>	2. 工事用地等の使用終了後における復旧内容	復旧場所	面積等数量	
			復旧方法	復旧における条件	
<input type="checkbox"/>	3. 工事用仮設道路・資器材置場用の民有地等の借地	使用目的	使用場所	使用範囲	使用時期 令和 年 月 日頃
		使用期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日			
<input type="checkbox"/>	4. 発注者が借り上げた土地の使用	使用目的	使用場所	使用範囲	使用時期 令和 年 月 日頃
		使用期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日			

明示項目	対象の有無	明示事項	内 容				関連特記仕様書等	
公害関係	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）対策	対象となる工種 施工方法の制限 機械施設の制限 作業時間の制限	工事全般 排出ガス対策型、低騒音 開始 時 分 から 時 分 まで				
	<input type="checkbox"/>	<del>2. 水替え・流入防止施設</del>	対象となる工種 使用期間	日間				
	<input checked="" type="checkbox"/>	3. 濁水、湧水等の処理対策	対象工種 舗装版切断	処理方法 産業廃棄物として処理	備 考		舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書	
	<input type="checkbox"/>	4. 事業損失防止関係	調査対象	事前・事後	調査範囲 対象件数	調査方法		
安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 交通安全施設等の指定	交通安全施設 警察協議による	工 種 工事全般	設置期間	内 容		
	<input type="checkbox"/>	<del>2. 近接工事での施工方法、作業時間等の制限</del>	近接する施設 施工方法の制限 作業期間の制限 作業時間の制限					
	<input type="checkbox"/>	<del>3. 落石、土砂崩落等に対する防護施設</del>	防護施設の内容					
	<input checked="" type="checkbox"/>	4. 交通誘導員、警戒船等の保安設備、保安要員の配置	保安要員種別 交通誘導警備員B（昼）	規制等方法 車両、歩行者の誘導	交代要員 有り	配置時間帯 9：00～17：00	人員数・規格 2人以上配置	
	<input type="checkbox"/>	<del>5. 有毒ガス及び酸素欠乏等の換気設備等対策</del>	危険要因	工 種	危険防止対策の工法内容、設備の規格・規模			
	工事用道路関係	<input type="checkbox"/>	<del>1. 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等の制限</del>	搬入経路 使用期間 使用時間帯 制限内容	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 開始 時 分 から 時 分 まで			
<input type="checkbox"/>		<del>2. 搬入路の使用後及び使用後の処置</del>	区間 期間 処置内容					
<input type="checkbox"/>		<del>3. 仮設道路の設置</del>	区間 安全施設の内容 安全施設の期間 工事終了後の処置 維持補修内容	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 存置・撤去				

明示項目	対象の有無	明示事項	内 容	関連特記仕様書等																								
仮設備関係	<input type="checkbox"/>	1. 仮設備（仮主留、足場等）の他の工事への転用もしくは兼用	<p>【他工事へ引き渡す場合】</p> 仮設備の内容 引き渡し時期 令和 年 月 日頃 維持管理等条件																									
	<input type="checkbox"/>	2. 仮設備の構造及び施工方法の指定	<p>【引き継いで使用する場合】</p> 仮設備の内容 引き継ぎ時期 令和 年 月 日頃 確認事項 条件等																									
	<input type="checkbox"/>	3. 仮設備の設計条件の指定	指定内容																									
建設副産物関係	<input type="checkbox"/>	1. 残土の受入れ及び仮置き場所までの距離、保管条件	指定処分の有無 有・無 指定処分の場合の受入地 UCR久里浜港 仮置きの有無・距離 有・無 km 仮置き場の選定条件																									
	<input checked="" type="checkbox"/>	2. 建設副産物及び建設廃棄物の処理	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>受入場所</th> <th>運搬距離</th> <th>受入条件</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>As殻</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>路盤材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	受入場所	運搬距離	受入条件	備考	As殻					路盤材														
名称	受入場所	運搬距離	受入条件	備考																								
As殻																												
路盤材																												
工事支障物件等	<input type="checkbox"/>	1. 占用物件の有無及び占用物件等による工事支障物の存在	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支障物件</th> <th>占用者</th> <th>移設・撤去・防護の時期</th> <th>移設・撤去・防護の期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	支障物件	占用者	移設・撤去・防護の時期	移設・撤去・防護の期間																					
	支障物件	占用者	移設・撤去・防護の時期	移設・撤去・防護の期間																								
<input type="checkbox"/>	2. 地上、地下等の占用物件工事との重複施工	占用物件工事の有無 有・無 占用者 工事期間																										
薬液注入関係	<input type="checkbox"/>	1. 薬液注入工法の施工	工法区分 材料種類 施工範囲 削孔数量 注入量																									
	<input type="checkbox"/>	2. 周辺環境への調査																										
その他	<input type="checkbox"/>	1. 工事事務機材の保管及び仮置き	工事事務機材名称 保管・仮置き場所 保管・仮置き期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日																									

明示項目	対象の有無	明示事項	内 容					関連特記仕様書等
			現場発生品	再利用の有無	数量	引渡し場所	運搬距離	
	<input type="checkbox"/>	2. 工事現場発生品						
	<input type="checkbox"/>	3. 支給材料及び貸与品	支給・貸与品名称 数量・品質 規格又は性能 引渡し期間					
	<input type="checkbox"/>	4. 関係機関・自治体等との近接協議に係る条件等						
	<input type="checkbox"/>	5. 架設工法の指定	施工方法 施工条件					
	<input type="checkbox"/>	6. 工事用電力等の指定						
	<input type="checkbox"/>	7. 新技術・新工法・特許工法の指定	工法名称 内容					
	<input type="checkbox"/>	8. 部分使用	使用箇所 使用時期      令和 年 月 日    ~    令和 年 月 日					
	<input type="checkbox"/>	9. 給水の必要	取水箇所 方法等					
	<input checked="" type="checkbox"/>	10. 検査日程	・検査日程については工期1週間前を原則とする。					
	<input type="checkbox"/>							
	<input type="checkbox"/>							
	<input type="checkbox"/>							

※上記以外に条件明示が必要な場合は、追加して条件を明示すること。

# 平面図

S=1/700

No. 2+5.20

令和8年度 市道32号道路修繕工事

No. 0+0.20

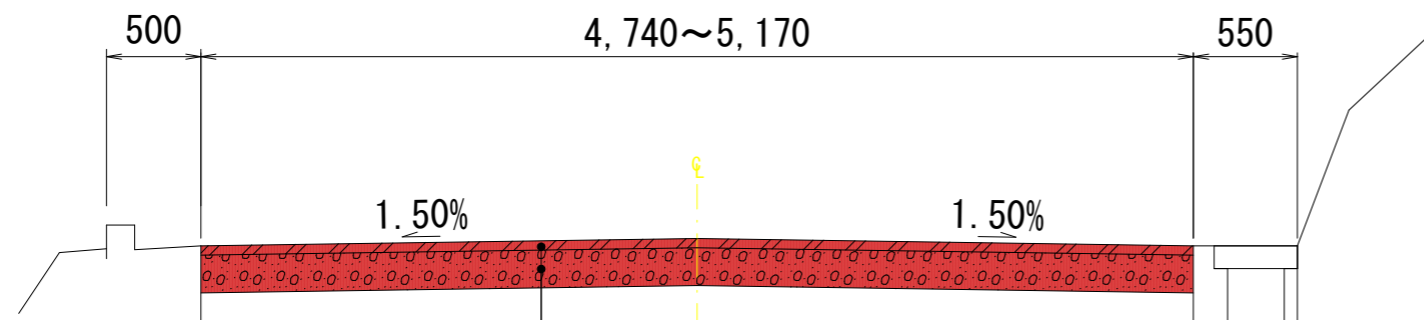
工事延長 L=45.4m 施工幅員 W=4.74~5.17m

道路打換え工 A=220m<sup>2</sup> 表層工 A=222m<sup>2</sup>



# 標準横断図

S=1/20



表層 再生As密粒度(13) t=50mm

上層路盤 RM40 t=200mm

工 事 件 名	令和8年度 市道32号道路修繕工事		
路線(河川)名	市道32号		
工 事 箇 所	三浦市宮川町地内		
図 面 名 称	平面図・標準横断図		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	1/1
三浦市都市環境部土木課			